

COOP-JOSO News Letter

2020年7月4回号 発行/常総生協広報G

2020年度活動テーマ案「JOSO食材でかんたん・おうちゴハン ～食卓から笑顔あふれる未来へ～」

第47回通常総代会 2020年度常総生協活動テーマは
「JOSO食材でかんたん・おうちゴハン ～食卓から笑顔あふれる未来へ～」
全議案可決承認されました。



第47回通常総代会の結果

【第47回総代会】

(日時) 2020年6月27日 10:00～11:05 (場所) 常総生協本部

(出席) 有効総代数 100名(本人出席5名、書面出席95名)

(議長) 本田薫、米倉深雪、鹿島孝子(※議長は採決に加わらず)

(議事録署名人) 埴川宏子、横山奈美

※新型コロナウイルス感染防止のため「書面議決書」による出席をお願いし、規模を縮小した総代会となりました。

【議決結果】

【第1号議案】 2019年度活動報告・決算承認の件	可決承認(賛成97票、反対0票)
【第2号議案】 2020年度活動方針、予算(案)承認の件	可決承認(賛成97票、反対0票)
【第3号議案】 役員報酬承認の件	可決承認(賛成97票、反対0票)
【第4号議案】 定款変更の件	可決承認(賛成97票、反対0票)
【第5号議案】 組合員みなし脱退承認の件	賛成多数により承認
【第6号議案】 役員選任の件	賛成多数により承認
【第7号議案】 議案議決効力発生の件	賛成多数により承認

第24期役員一覧

理事	班名	地区/役割	名前	略歴
1	松前P伊藤	常勤	伊藤 博久	重任
2	守谷250	常勤	木内 和彦	重任
3	二の宮P増本	つくば	増本 綾子	重任
4	天王台P佐藤	我孫子	佐藤 登志子	重任
5	倉掛P塩見	つくば	塩見 直子	重任
6	ひたち野P中丸	牛久	中丸 晴子	重任
7	荒川沖東P中安	土浦	中安 和代	重任
8	P中山恵都子	つくばみらい	中山 恵都子	重任
9	光風-03	取手	高橋 百合子	新任
10	荒川本郷P蓑輪	阿見	蓑輪 真実	新任
11	松前P小宮山	常勤	小宮山 遼	新任
監事	班名	地区/役割	名前	略歴
1	みずき野P谷田川	守谷	谷田川 純子	新任
2	並木P宮本	我孫子	宮本 慈子	新任
3	守谷250	我孫子	管 剛文	新任

○新役員体制

総代会終了後、第1回理事会が開催され、理事長、副理事長、専務理事、常務理事と、代表理事選任について互選されました。

理事長	増本 綾子
副理事長	佐藤 登志子
専務理事（代表理事）	伊藤 博久
常務理事	木内 和彦

退任役員の皆様、お疲れさまでした！

○退任役員

新堀 扶三子（理事）	・・・2期（4年間）
小島 いみ子（監事）	・・・3期（6年間）
菅沼 和子（監事）	・・・3期（6年間）
鈴木 英敏（監事）	・・・1期（2年間）

役員挨拶(1) 増本理事長



前期より引き続き、第24期理事長をさせていただくことになりました、つくば地区の増本です。第22期、第23期と3期目(理事長としては2期目)になります。

新型コロナウイルス感染拡大防止、自粛により、常総生協始まって以来の初めての総代会延期という事態ではありましたが、皆様のご理解、ご支援、ご協力により、6月27日、無事に第47回通常総代会が開催できましたことに、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

この二年を振り返りますと、様々な活動や他団体との関わりは、学び多き日々でした。春の討議資料のアンケートの回答に「続けてほしいです」と多く寄せられた、JFSAの古着回収やフードバンク・子ども支援プロジェクト活動の持続可能にする取り組み方はとても興味深いものでした。地域にコミットした城山ステーションのサロンやゴンタの丘の子育て支援活動では世代別の課題に対するニーズを世代を超えて満たす可能性を感じています。また、福島ツアー参加や飯館村での雪っ娘かぼちゃの種まき・収穫のお手伝いをさせていただき、生まれ育った地への想いと前を向こうという覚悟に、幾度となく励まされました。加えて、遠方の産地訪問にも伺わせていただき、松永農園では人も自然の摂理・生態系の中に存在していることを実感し、サマーキャンプでお世話になっている能勢農場では、命をいただく事の尊厳を深く考えさせられました。

このような学びを得られるのは、組合員・生産者・職員が長年築き、積み上げてきた「相互に支え合う関係」が礎であり、すべての活動のエネルギーへとつながっています。

時代に敏感であっても流されずに続いていく生協、組合員・生産者・職員が理想とする生協、社会や地域に必要とされる生協、多様な生き方や日々の暮らし、個人各々の豊かな生活の基盤になる生協であり続けるよう皆様と一緒に歩んで行きたいと思っております。

至らぬことも多々ある事と思っておりますが、どうぞ、これからも今までと変わらぬお力添えをいただけますようお願い申し上げます。

最後に、新型コロナウイルスの影響下、私たちの食卓を支え続けてくださっている生産者の皆様と、毎週、欠かさず食材を届けてくださっている職員の皆様に敬意と厚く御礼を申し上げます。

役員挨拶(2) 伊藤専務理事



引き続き、専務理事を務めさせていただきます。常総生協の2019年度の決算状況として、供給高9億1,139万円前年比102%(計画比103.8%)経常剰余+935万円、累積欠損額1億1,045円→8,212万円まで解消することができました。12億規模が現在の配送センター1か所の物理的限界のキャパシティです。まずは12億の供給高を目指して将来的には20億規模になれば、もっと地

域に浸透した生協になれると考えています。ただ規模が大きくなれば良いというわけではなく、取り組む活動・運動の拡がりの影響力が違って来る。そういった意味で常総生協の事業力が問われると思っています。そのためには成長戦略をしっかり持つこと。今までの生協の概念を覆す位の新しい動きをとっていく事が必要です。生協のリノベーションです。

新型コロナウイルスは大きく世界を動かしました。まだまだ油断はできません。経済優先のグローバル社会は人は経済の為に働くという事を露呈したように見えます。いのちを守るために経済があるはず。大量生産・大量消費は自然環境破壊、食料を輸入に依存、弱者を切り捨てる社会を作ってきたように思います。いのちを育む食べものを海外や遠方に依存せず、身土不二を推進する常総生協の役割はますます大きくなっていきます。

ここ近年では異常災害が多発しています。2019年9月には千葉県を中心とした台風の被害が大きかったです。海水の温度上昇により台風が日本近海で大型化し大規模な自然災害をもたらしています。災害は日本の農業に大きく影響します。BCP(事業継続)の観点からも一層検証する必要があります。海水面の温度上昇の原因は温暖化とされ、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスと言われています。エネルギー問題が大きいです。生協事業の観点から商品の移動距離(フードマイレージ)もエネルギー排出に大きく影響します。化学肥料や農薬は、その原料や製造過程で石油を消費します。近場で、化学肥料や農薬に頼らない地域環境を循環させる有機農業が必要であり、より一層推進していきます。

課題や、問題は山積みですが、1歩ずつ生産者、組合員、職員が力を合わせて常総生協の成長につながる取り組みをしていきましょう！

メッセージ・祝電等一覧

祝電・メッセージを頂いた生活協同組合並びに関係団体一覧（順不同）

- 守谷市長 松丸修久
 - 茨城県生活環境部生活文化課
 - 日本生活協同組合連合会
 - 千葉県生活協同組合連合会
 - いばらきコープ生活協同組合
 - 生活協同組合パルシステム千葉
 - 生活協同組合パルシステム群馬
 - 中央労働金庫
 - 茨城県勤労者共済生活協同組合
 - 日本労働者協同組合連合会 東関東事業本部
 - NPO法人フードバンク茨城
 - 関西よつ葉連絡会
 - 株式会社 高橋徳治商店
 - 株式会社 ニッコー
 - 日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会センター事業団
 - 関西よつ葉連絡会
- (生協ネットワーク21)
- 生活協同組合あいコープみやぎ
 - よつ葉生活協同組合
 - なのはな生活協同組合
 - 自然派くらぶ生活協同組合
 - 生活協同組合ナチュラルコープヨコハマ
 - やまゆり生活協同組合
 - 生活協同組合連合会アイチョイス
 - あいち生活協同組合
 - 一宮生活協同組合
 - 生活協同組合 ぷちとまと
 - 生活協同組合連合会コープ自然派事業連合会